

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度浸水センサデータ収集提供・効果検証業務
業 務 概 要	別紙の通り
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 藤巻 浩之 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 5年 6月14日
契 約 業 者 名	(一財) 河川情報センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区麴町1-3 ニッセイ半蔵門ビル
契 約 金 額	109,967,000円(税込み)
予 定 価 格	109,967,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅2丁目10番7号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年 6月15日
履 行 期 間 (至)	令和 6年 3月29日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和5年度浸水センサデータ収集提供・効果検証業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住所：東京都千代田区麹町1-3ニッセイ半蔵門ビル
会社名：一般財団法人河川情報センター
電話：03-3239-2434
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、浸水センサ実証実験で取得する浸水検知情報をインターネットにより共有・提供するシステムの試験環境の整備とその試験運用を行うとともに、取得した浸水データの精度検証を行い浸水センサの普及拡大・データの利活用について検討する。また、河川管理者が設置した越水センサの情報を収集・提供するシステムの稼働状況の確認を行う。

2) 業務の内容

- ・計画準備 1式
- ・資料収集整理 1式
- ・浸水センサ情報共有・提供システムの安定的・継続的な運用検討 1式
- ・サーバ構成の効率化検討 1式
- ・実証実験期間における情報提供の試行 1式
- ・浸水センサ実証実験に関する運営補助 1式
- ・浸水センサ実証実験結果とりまとめ 1式
- ・浸水センサ整備・データ利活用等に関するガイドライン（案）作成 1式
- ・報告書作成 1式
- ・打合せ 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び浸水センサ実証実験結果とりまとめから、ガイドライン（案）作成までにおける留意点に係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が適切に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び特定テーマの「浸水センサ実証実験結果とりまとめから、ガイドライン（案）作成までにおける留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が論理的に整理され、提案内容に説得力があり、提案内容を裏付ける業務実績が十分に示されており、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 水災害予報センター長